

# 新たな戦略の策定における論点

内閣府知的財産戦略推進事務局

2019年6月14日



Japan. Cool Japan.

# これまでの議論における主な論点（総論）

- CJの目的である「共感の獲得」を共有する必要
- CJが持つ日本人への裨益効果について明確にする必要
- CJは経済的な面に加え、文化的な面でも重要
- 外国人の視点を取り入れることが重要
- 横連携を図るためネットワーク化する必要
- CJの効果を測定する必要
- ポップカルチャー等「幅の広さ」と「深さ」を効果的に活用する必要
- 情報発信を工夫する必要
- British Councilのような機能の必要性
- 外国人の将来像を考える必要（例：滞在・就労しやすい環境）



上記の内容を実現するため、  
ネットワーク及び日本ファンを増やす仕組みをつくる

# これまでの議論における主な論点（ネットワーク）

## ネットワークについて

- 中核組織は政府の「中」ではなく「横」にある方がよい
- 中核組織の機能
  - ・ CJの戦略や方向性の決定と浸透
  - ・ トレンド分析、マーケティング、リサーチ
  - ・ 教訓事項や日本に関する知識の蓄積と共有
  - ・ British Councilのような機能（文化・伝統の発信、one stop service的なもの）
  - ・ PRや発信の司令塔
  - ・ 取組全体を盛り上げるためのイベント
- 3年間かけて官の支援（資金面含む）で立ち上げ、その後は民に移行するというイメージで作りこむのか
- Tier1やTier2との関係を工夫し、例えば個別の地域や個別の事業の活性化ではなく、幅広い連携が自然発生する環境を目指す必要がある

# これまでの議論における主な論点（日本ファン）

## 日本ファンを増やす仕組みについて

- 目的が異なるものが混在しているので、目的を明確にすべき。
  - ・ リピーターを増やすことを目的とするのか、更にその先を目指すのか
- 相手方の「関心を知る」上で登録以外の方法を活用する方が良いのではないか
  - ・ SNS等既存のコミュニティを活用
  - ・ 既存のビジネス（サービス）を活用
- 「関心」以上の情報を登録させる必要がある場合には、新たなシステムが必要か
- メリット措置について、民間でも提供できるものと政府にしか提供できないものがある
  - ・ 情報提供や空港におけるサービス（の多く）は民間で可能
  - ・ 法制度の改正や運用変更を要するものは政府にしかできない

# 横の連携を強化するための仕組み（一例）

- CJを持続的に実施するため、関係者間の横連携を強化する仕組みを構築し、中長期的には自走させる
- まずは小規模な仕組みを作り、中長期的に拡大していくことが現実的

- CJ戦略の基本的考え方を浸透させ、国全体として一貫した取組を確保するため、積極的に関与
- 仕組みを機能させることを含め、CJを進めるための環境整備

中央政府レベルで横連携する仕組みを構築

連携・協力



内閣府



関係省庁

緊密な連携・協力

- 内閣府と中核組織が緊密に連携することで、国全体としての一体性を確保



中核組織

- ネットワークを拡大・維持し、機能させるため、中核となる組織を既存／新規の一般社団法人に常設
- ネットワーク維持のファンディングに関しては要検討

知見の集約、相談

情報提供、アドバイス

＜目指す姿＞  
ネットワーク内で情報共有がなされ、自然発生的にメンバー同士が繋がることで、CJの取組がより良く進むような環境。

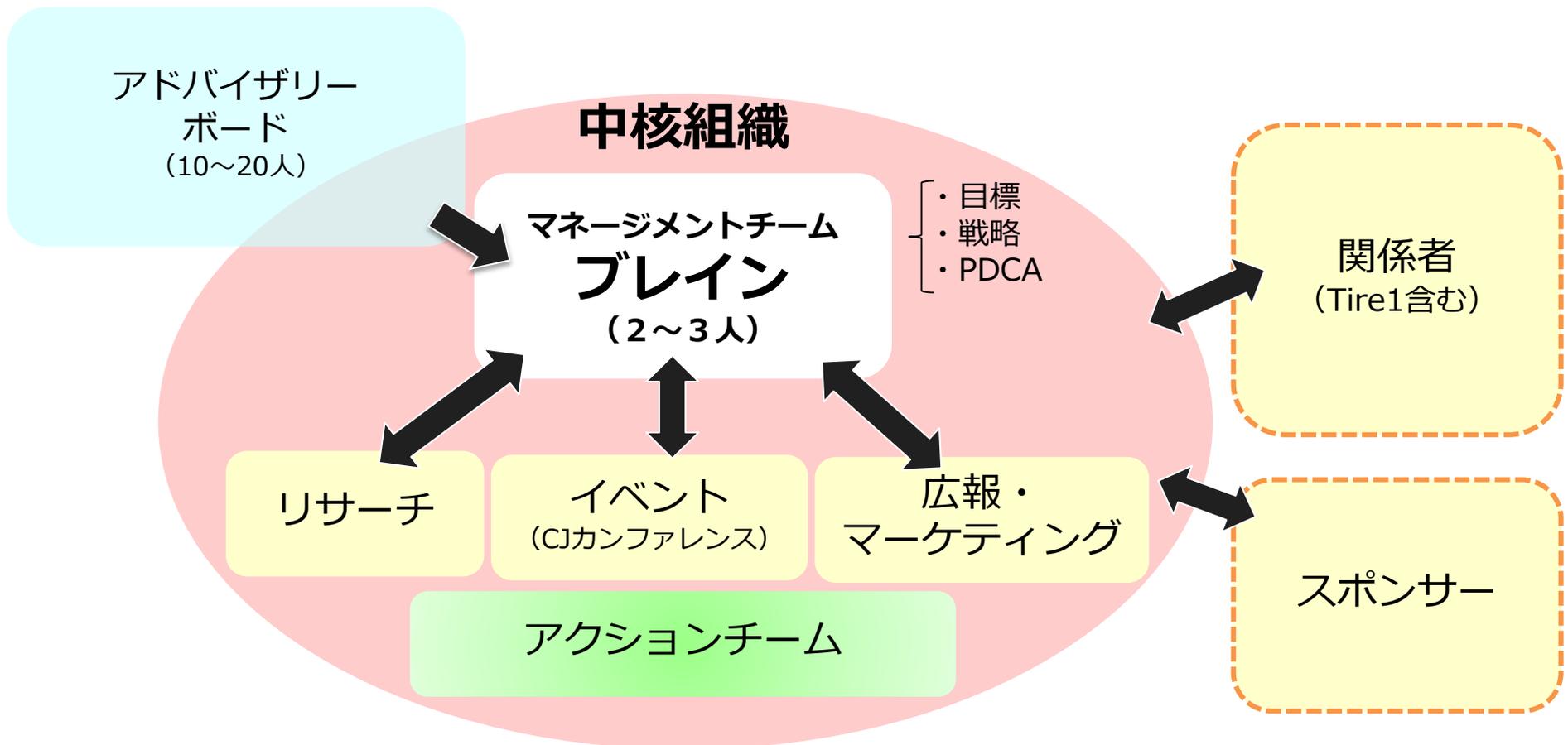
緩やかなネットワーク



## 【 ネットワークで取組む事項（イメージ） 】

- 知見の蓄積及び共有
- アイデアの発掘、創出、育成
- 人材の発掘、マッチング
- 事業の発信・展開
- 評価・分析・検証

# 横の連携を強化するための仕組み（中核組織のイメージ）

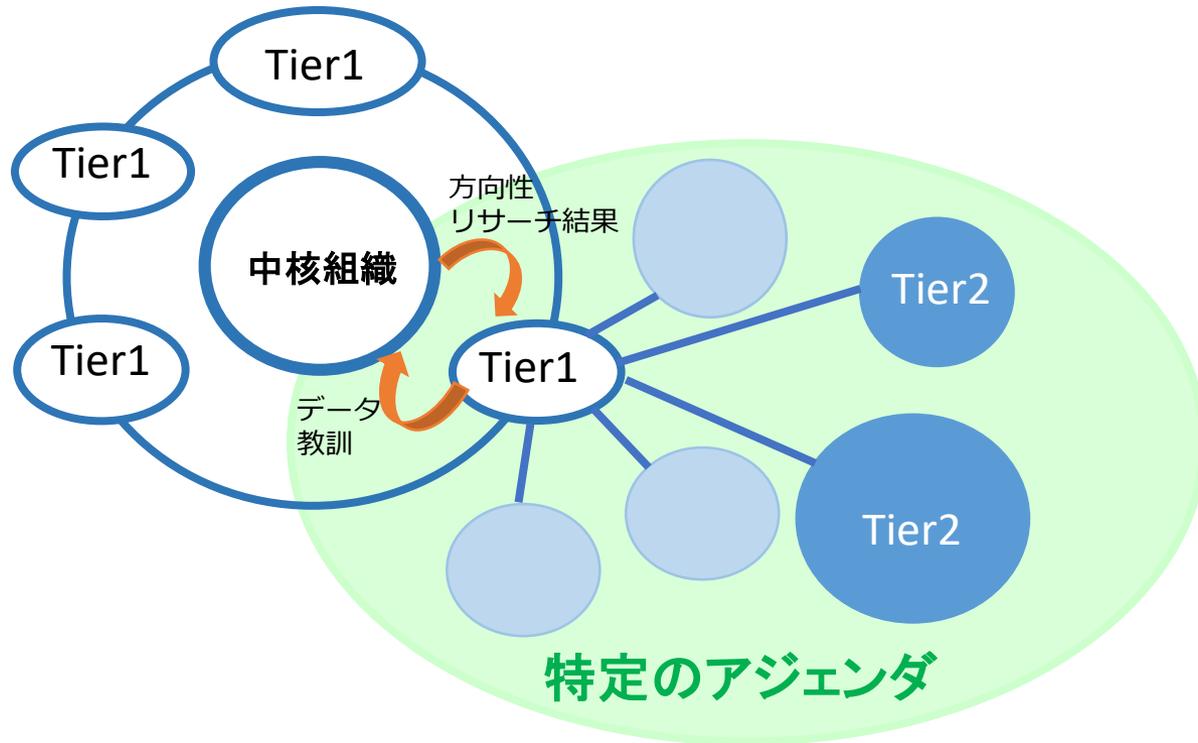


- ◆ 中核組織の役割
  - ・ 戦略を考える
  - ・ トレンドやデータの分析・リサーチ
  - ・ 情報発信
  - ・ イベントの開催

⇒ 3年程度で自走させる。

# 横の連携を強化するための仕組み（Tier 1 のイメージ）

中核組織とハブになる主体を中心に、アジェンダごとにネットワークを構築し、連携させながら拡大する。



- Tier1となりうるもの  
※下記の団体等とは未調整です。
- ・ メディア系
- ・ 日本紹介サイト
- ・ 政府関係団体
- ・
- ・
- ・

- Tier1に期待することは何か。
  - ・ ネットワークの拡大
  - ・ 事業展開
  - ・ 横連携を意識しつつ、全体の方向性の浸透

# 日本ファンを増やすための仕組みについて

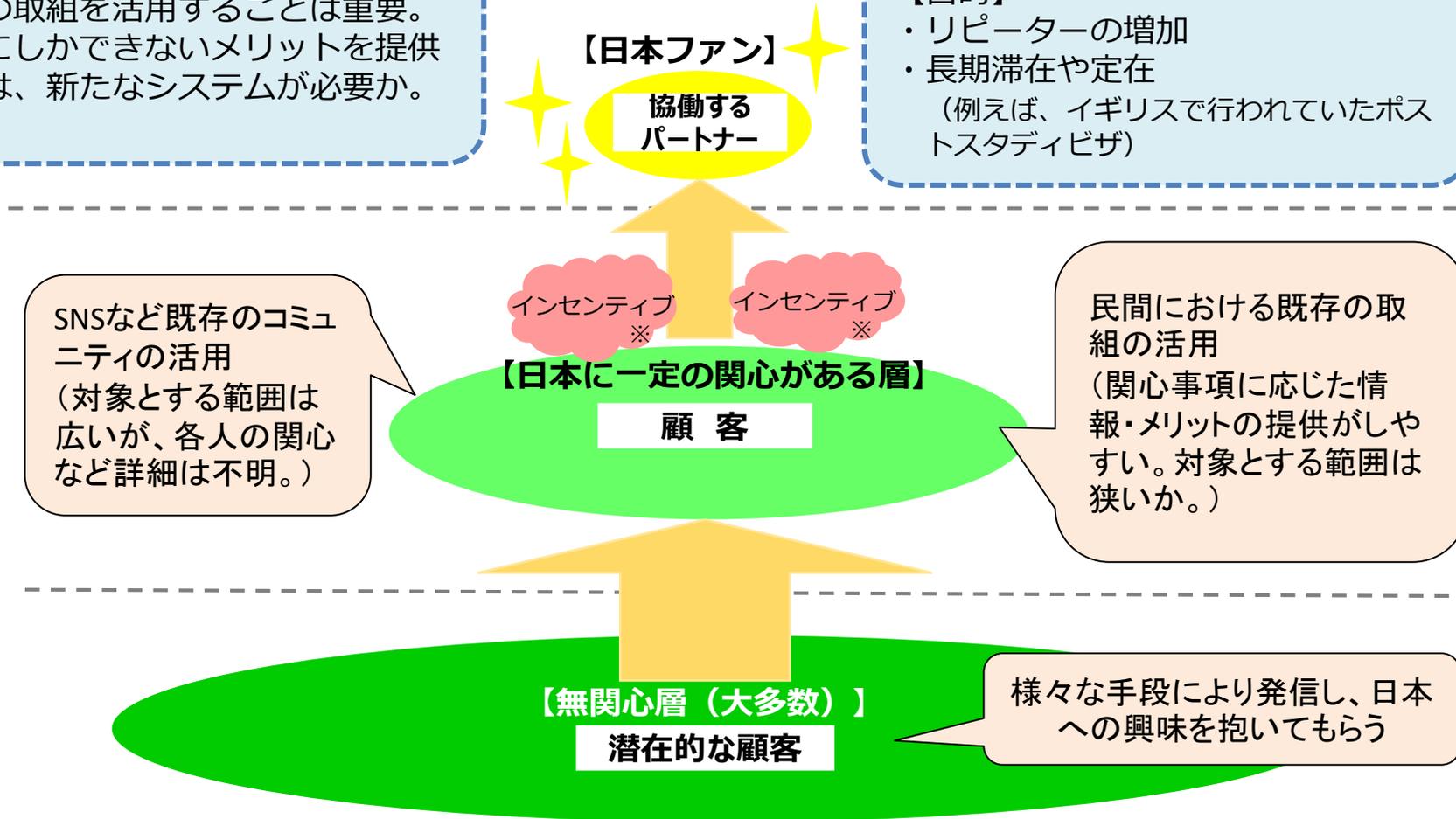
- 外国人の関心を踏まえ、双方向のコミュニケーションを通じ、「日本」に愛情を持つ日本ファンを増やす。

## 【論点】

- ・ 既存の取組を活用することは重要。
- ・ 政府にしかできないメリットを提供するには、新たなシステムが必要か。

## 【目的】

- ・ リピーターの増加
- ・ 長期滞在や定在  
(例えば、イギリスで行われていたポストスタディビザ)



※ 日本ファンになってもらい、日本ファンであり続けてもらうためのメリット措置。